



千葉県防災士連絡会、宍倉朋胤顧問が 日本防災士会スキルアップ研修で講演

令和3年8月7日15時から 日本防災士会主催によるスキルアップ研修会が、開催されました。テーマは「避難所トリアージ」。Web 研修で行われ約 300 名の会員が受講しました。

講演内容は、

- ①命を落とさないための避難所の理解
- ②熊本地震の避難所の問題点
- ③なぜ、避難所で命を落とすのか
- ④避難所運営マニュアルの作成を通じて避難所を考える
- ⑤避難所でなぜトリアージが必要なのか



日本防災士会 HP より

複合災害発生時における避難所のあり方は、まさに今、防災士が避難所運営訓練の指導や実際に避難所運営を支援する立場として必要なヒントとなりました。避難所運営マニュアルや HUG 等の避難所運営研修にも、トリアージ概念を加味しなければ、実際の避難所運営が困難になると、警鐘を鳴らす内容でした。今後の千葉県防災士連絡会が支援する避難所開設・運営訓練に、この課題をどのように取入れ、進化させていくか、宍倉顧問の指導を仰ぎながら考えてゆきたいと思います。

宍倉顧問は、千葉県 DMAT 隊員として災害医療に取り組むほか 社会医療法人 社団正朋会理事長(茂原市宍倉病院)として、通常の地域医療に加え、2020 東京五輪・パラリンピックの選手らを受け入れる「大会指定病院」としても貢献されました。また、過去2回※、日本防災士会研修で講師を務めました。

※「災害と医療」～防災士のできる市民トリアージ～ ①2019/9/22、②2020/1/25



千葉県防災士連絡会 宍倉朋胤顧問